

科目名		18. 介護過程各論	
担当講師	黛 真人	実務経験の有無	有・無
授業形態・単位数	講義 60 時間・4 単位	開講学年	2 学年・通年
評価基準	提出物 (40%) 発表会 (10%)・筆記試験 (50%) 出席点：減点方式で総合評価から減点する (欠席：1 コマにつき 2 点減点、遅刻・早退 1 回につき 1 点減点)		
目標	○ 他の科目で学習した知識や技術を統合して、介護過程を展開し、介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う。 ○ 介護過程の展開に基づいた生活支援について理解する。 ①自立に向けた介護過程展開の実際を理解する。 ②利用者の状況・状態に応じた介護過程の展開を理解する。 ○ 介護過程の展開を事例を通じて理解する。		
回	講義内容	方法	
1	<u>介護過程の展開について振り返り</u>	講義・演習	
2	<u>介護過程の実践的展開 1</u> ：事例①の検討 情報の整理	講義・演習	
3			
4	<u>介護過程の実践的展開 1</u> ：事例①の検討 情報の解釈・関連付け 【提出物 1 アセスメント表 (2)】	講義・演習	
5			
6	<u>介護過程の実践的展開 1</u> ：事例①の検討 生活課題の抽出	講義・演習	
7	<u>実習における介護過程の展開</u> 情報収集・アセスメント	講義・演習	
8	<u>介護過程の実践的展開</u> ：事例の検討 課題の抽出、目標設定 実習を終えて、担当利用者の生活課題をもう一度を見直してみよう	講義・演習	
9	<u>介護過程の実践的展開 1</u> ：事例の検討 「目標」の表現について	講義・演習	
10	<u>介護過程の実践的展開</u> ：事例の検討 介護計画の立案① 具体的な援助内容・方法の検討 【提出物 2 実習で担当した利用者の個別援助計画】	講義・演習	
11			
12	<u>介護過程の実践的展開 1</u> ：事例①の検討 介護計画の立案② 立案した計画の発表 【提出物 3 事例の個別援助計画】	講義・演習	
13			

14	介護過程の実践的展開 1：事例の検討 実施・評価①	講義・演習
15	【提出物 4 グループで実施・評価をイメージする】	講義・演習
16	介護過程の実践的展開 2：事例の検討 グループワーク①	講義・演習
17		
18	介護過程の実践的展開 2：事例の検討 グループワーク②	講義・演習
19	【提出物 5 フェイスシート アセスメント表（1）（2）】	講義・演習
20	介護過程の実践的展開 2：事例の検討 グループワーク③	講義・演習
21	【提出物 6 個別援助計画 実施評価表】 【提出物 7 発表用レジュメ】	講義・演習
22	介護過程の実践的展開 2：事例の検討 発表会	演習
23		
24	実習における介護過程の展開 個別援助計画の立案・実施・評価	講義・演習
25	介護過程の実践的展開 2：介護計画の修正（再アセスメント） 実習を終えて、担当利用者の今後の支援について考える	講義・演習
26	【提出物 8 実習で担当した方の今後の課題と計画】	講義・演習
27	介護過程とチームアプローチ 災害時における対応	講義・演習
28		
29	まとめ	講義・演習
30	定期試験	試験
	テキスト・参考書	最新・介護福祉士養成講座 9 介護過程 中央法規出版 事例で読み解く介護過程の展開 中央法規出版（参考書） 「よくする介護」を実践するための ICF の理解と活用 中央法規出版（参考書） ※他必要に応じて資料を配布する。